

嚥下障害

所属_____

氏名_____

高齢者に多い疾患－嚥下障害

問題1 誤りはどれ？

- ①舌と歯を使い，唾液と混ぜて飲み込みやすい形にすることを嚥下と言う。
- ②舌の運動によって，食べ物は，喉の奥へ送り込まれる。
- ③嚥下障害は，誤嚥性肺炎の原因の一つである。
- ④食事中，食後にガラガラ声やかすれたような声になった時は，誤嚥の可能性はある。
- ⑤嚥下障害のリハビリの専門家は，OTである。

MEMO

高齢者に多い疾患－嚥下障害

問題2 誤りはどれ？

- ①摂食・嚥下の過程は，先行期・準備期・口腔期・咽頭期・食道期の5つに分かれる。
- ②先行期は，食べ物を見て，何をどのくらい，どのように食べるかを判断する時期である。
- ③先行期の障害としては，食べ物を見せても反応しない，
- ④飲み込んだ後に喉がゼロゼロと湿性嚙声の障害が出る時期は，食道期である。
- ⑤準備期の障害には，口を閉じることが難しく，ダラダラと食べ物がこぼれてしまうことがある。

MEMO

高齢者に多い疾患－嚥下障害

問題3 正しいのはどれ？

- ①異物が喉に詰まったサインをチヨークサインと言う。
- ②口の中に物が詰まっている場合は、まず指でかき出すが、急を要するので素手で行ってもよい。
- ③背部殴打法とは、患者の背部に回って両腕で上体を抱え、一方の手でこぶしを握って剣状突起とへその間に置き、もう一方の手をその上に被せて組み、腹部に食い込ませるように瞬間的に引き上げ、上方に締め付けるように抑える方法である。

MEMO

高齢者に多い疾患－嚥下障害

問題4 正しいのはどれ？

- ①口から食べることで口の中をきれいにする自浄作用が働くので、経管栄養などの口から食べられない方は、口腔内の汚染が強くなりやすい。
- ②高齢者の口腔乾燥は、利尿剤や抗うつ剤などが原因になる場合もある。
- ③嚥下機能が低下している人へのきざみ食は、誤嚥を引き起こしやすいので控えたほうがよい。
- ④義歯が本人にあっている場合は、義歯を外さないで口腔ケアを行うのがよい。

MEMO

高齢者に多い疾患－嚥下障害

問題5 正しいのはどれ？

- ①嚥下しやすい食事の姿勢は、顎が少し上を向いている角度である。
- ②車椅子に座っていると仙骨座りになりやすいが、食事中は仙骨座りのままでも嚥下には問題ない。
- ③食事のテーブルの高さと椅子の高さは、嚥下状態に関係があるので、適切な高さを準備する。
- ④嚥下状態の悪い方への食事介助では、一定のテンポでスピーディに対応することが大切である。

MEMO

高齢者に多い疾患-嚥下障害

問題6 事例問題

病院から退院してきた入居者のケース。

病院からの情報では常食ということだったが、常食を提供したところ、食事時のむせが多く、嚥下状態に不安がある。

介護職員として、今後はどのような対応をしたらよいか？

MEMO
